

【佳作】

## 「北方領土について考えること」

札幌市立琴似中学校

1年 小野 愛莉

北方領土問題について、みなさんはどう思っているのでしょうか。自分に関係なかったり、周りに元々住んでいた人がいなければ、深く考える事はないかもしれませんが、ですが、北海道に住む者として一度、しっかり考えてみませんか。

北方領土とは、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の四つの島々からなる北方四島の事です。日本固有の領土なのですが、一九四五年八月からソ連に不法占拠されています。ソ連軍は、通信施設を破壊・強奪し、船の航行を禁止。本土と連絡がとれないようにし、島民の自由をうばいました。毎日ソ連軍に監視され、恐ろしく、外に出られない日々が続いたそうです。たえきれなくなり島を脱出する人々は、監視の目を逃れるため暗闇や海の荒れた日に死を覚悟した脱出。島に残った人々はソ連人と混住生活、先の見えない不安に苛まれていました。ソ連軍から日本に返すと命令が出て、船で送られましたが、不衛生で寒く、食料不足により体を壊し、薬もなく医者もいなかったのも、死亡する人も多くいたそうです。死と隣り合わせの日々をのりこえ、函館にたどり着きました。脱出しようとしても、島に残っても、死と隣り合わせの、覚悟した日々を過ごさなければならなかったのです。

島には、きっと小さな子どもたちもいたと思うし、きっとお年寄りの方だっていたはずです。なぜ普通に暮らしていた人々が大変な目に合わなくてはいけなかったのか。悲しみと同時にソ連への怒りもわいてきました。

ソ連はなぜ、北方領土を占領したのか。それは、凍らない港がほしかったからだそうです。自分の国より南に位置し、無抵抗だった日本は、ソ連にとって丁度良かったのです。アメリカのトルーマン元大統領が、北海道占領までは止めたようですが、それが無ければ北海道もソ連のものにする気だったようです。

今、北方領土にはロシアの方々に住んでいます。生まれた時からそこへ住んでいる人だってきつといます。その方々は悪くありません。しかし、昔そこには日本人が住んでいて、ソ連に不法占拠されている、という事実は変わりありません。なので、北方領土問題は互いの国が納得して終われるような解決策を練らなければいけません。だから難しい問題で、未だに解決していないのだと思います。

元々島で暮らしていた方々が、自由にお墓参りや訪問ができるようになるには、後何年かかるのでしょうか。少しでも早く、元島民のみなさんの願いが叶うことを祈っています。私たちがどうにかできる事ではありませんが、北海道だけでなく、日本全体で考えるべき問題であり、北方領土での出来事は忘れてはいけないことだと思います。